

発行所
北海道高等学校体育連盟
バレーボール専門部
発行責任者 杉木 恵
編集責任者 高田 志朗
平成25年3月15日 発効

第65回 北海道高等学校総合体育大会 バレーボール競技会

期日：平成24年6月12日(火)～15日(金) 当番校：北海道北見緑陵高等学校

男子優勝 **とわの森三愛高等学校** (2年ぶり4度目) 女子優勝 **札幌大谷高等学校** (4年ぶり6度目)

男子 (20チーム)

- 【優勝】 とわの森
- 【準優勝】 東海大四
- 【3位】 尚志学園
- 【4位】 札幌藻岩
- 【ベスト8】
岩 緑 陵、旭川工業
恵 庭 南、旭川実業

【ベスト16】

- 帯広工業、釧路湖陵
- 苫小牧工、釧路工業
- 北見緑陵、ラサール
- 函館工業

【予選グループ戦】

- 北見工業、倶知安
- 静 内、斜 里
- 豊 富



男子優勝のとわの森三愛高校



女子優勝の札幌大谷高校

女子 (27チーム)

- 【優勝】 札幌大谷
- 【準優勝】 札山の手
- 【3位】 旭川実業
- 【4位】 旭川商業
- 【ベスト8】
岩見沢西、札幌北斗
帯広南商、啓北商業

【ベスト16】

- 江 陵、美 幌
- 虻 田、釧路明輝
- 北見緑陵、函館西
- 函館大妻、北見北斗

【1回戦】

- 市立函館、国際情報
- 苫中央、恵庭南

【予選グループ戦】

- 深川西、士別翔雲
- 倶知安、稚 内
- 小樽潮陵、釧路北陽
- 登大谷・道大谷室

【男子講評】

男子は、シードチームが順当に勝ちあがって、実力No.1とされていたとわの森三愛が2年ぶり4度目の優勝を飾った。第3シードの東海大四は櫻田監督がベンチ入りできない中で、前年度優勝の札幌藻岩をフルセットの末に破り、悲願の全国大会の切符を獲得した。尚志学園もその東海大四とフルセットまで戦ったが最後に力尽きた。

その他のチームでは、旭川実業が選手層の充実もあって健闘し、今後に期待を抱かせる内容であった。また、釧路工業、恵庭南も粘り強い戦いを展開、苫小牧工業はこれから一年間要目目のチームであろう。

全国大会の代表権を獲得した2チームは実力派の選手を抱えており、上位進出に期待したい。

【女子講評】

女子は第2シードの札幌大谷が第1シードの札幌山の手をフルセットの末に破り、4年ぶり6度目の優勝を飾った。3位にとどまった旭川実業はチームも充実した内容で、今後に期待を抱かせた。旭川商業も札幌大谷とフルセットを戦い、健闘した。

苫小牧中央、帯広南商業、函館西、啓北商業、札幌北斗、江陵、虻田恵庭南などのチームも発展途上にあるようで、選手権大会に何人の選手が残るかによって上位進出も可能であろう。実力伯仲したチームが増えてきており、試合を盛り上げていた。

札幌・旭川・帯広を軸とした混戦が今後も続きそのような状況が想定される。



平成24年度 第65回全日本高等学校バレーボール選手権大会 北海道予選会

男子 参加 40チーム

- 【優勝】とわの森 【準優勝】東海大四
- 【ベスト4】札幌藻岩、尚志学園
- 【ベスト8】恵庭南、啓北商業、函館工業、岩見沢東
- 【ベスト16】北海、大麻、岩内、白樺学園、旭川工業、苫小牧工、釧路工業、旭川実業、
- 【2回戦】帯広工業、静内、琴似工業、網走南丘、札幌第一、別海、札幌月寒、釧路明輝、江差、恵庭北、札幌平岸、北見工業、札幌南陵、深川西、札幌西陵、富良野、
- 【1回戦】苫高専、室清水丘、室蘭栄、紋別、滝川西、豊富、小樽桜陽、江別、

女子参加 57チーム

- 【優勝】札幌大谷 【準優勝】旭川実業
- 【ベスト4】札山の手、江陵
- 【ベスト8】えりも、函館西、虻田、帯広南商
- 【ベスト16】帯广大谷、北海道栄、釧路江南、中標津、啓北商業、札幌白石、岩見沢西、旭川明成、
- 【2回戦】旭大高、富緑峰、札幌北斗、旭川東、室清水丘、湧別、北見商業、岩見沢東、倶知安、北見北斗、羽幌、静内、江別、旭川商業、国際情報、恵庭南
- 【1回戦】名寄、札幌東陵、芦別、東海大四、岩内、滝川西、遺愛女子、双葉、天塩、深川西、函館稜北、釧路明輝、札幌手稲、七飯、札幌月寒、網走南丘、美唄聖華、稚内大谷、小樽潮陵、千歳、苫中央、羅臼、とわの森、士別翔雲、遠軽



平成24年度第8回北海道高等学校バレーボール新人大会

開催地：小樽市 期日：平成25年2月1日（金）～3日（日） 開催地：小樽市

男子 参加 31チーム

- 【優勝】とわの森 【準優勝】東海大四
- 【3位】尚志学園 【4位】札幌藻岩
- 【ベスト8】北海、白樺学園、札幌開成、江差
- 【ベスト16】釧路工業、根室、岩見沢東、大麻、啓北商業、苫小牧工、函館工業、豊富
- 【1回戦】札幌北、小樽工業、紋別、滝川、網走南丘、北見緑陵、静内、富良野、岩内、旭川実業、小樽桜陽、室清水丘、旭川凌雲、恵庭南、深川西は棄権

女子 参加 39チーム

- 【優勝】札幌大谷 【準優勝】旭川実業
- 【3位】帯広南商 【4位】江陵
- 【ベスト8】旭川大学、札山の手、札幌北斗、東海大四、
- 【ベスト16】釧路北陽、函館西、帯广大谷、稚内大谷、国際情報、小樽桜陽、旭川商業、羽幌、
- 【2回戦】虻田、網走南丘、双葉、美唄聖華、岩見沢西、遠軽、北見商業、滝川西、北見北斗、恵庭南、遺愛女子、深川西、江別、函館稜北、中標津、札幌白石、
- 【1回戦】苫中央、啓北商業、士別翔雲、芦別、

過去一年間の全国大会結果

◇第65回 全国高等学校総合体育大会（北信越かがやき総体）

《君は今 希望とともに 緑の大地をかけぬける》



開催県：富山県

期日：男子 7月30日（月）～8月2日（木） 女子 8月4日（土）～7日（火）

男子 【会場】の体育館

女子 【会場】の体育館

予選グループ戦

とわの森 0-2 長野日大（長野）
東海大四 2-0 安来（島根）

予選グループ戦

札幌大谷 2-1 増穂商業（山梨）
札山の手 2-0 椋山女学園（愛知）

敗者復活戦

とわの森 2-0 霞ヶ浦（茨城）

決勝トーナメント1回戦

札幌大谷 1-2 柏井（千葉）

決勝トーナメント1回戦

とわの森 2-0 長野日大（長野）

決勝トーナメント2回戦

札山の手 2-1 県岐阜商業（岐阜）

決勝トーナメント2回戦

東海大四 0-2 東山（京都）

決勝トーナメント3回戦

札山の手 1-2 九州文化（長崎）

とわの森 2-0 宮崎工業（宮崎）

決勝トーナメント3回戦

とわの森 2-0 習志野（千葉）

準々決勝

とわの森 0-2 星城（愛知）

（とわの森ベスト8 北海道勢久々の上位進出）

【優勝】 星城（愛知）

【優勝】 川崎橘（神奈川）

【準優勝】 大村工業（長崎）

【準優勝】 鹿児島女子（鹿児島）

【3位】 鹿児島商業（鹿児島） 東亜学園（東京）

【3位】 共栄学園（東京） 北九州（福岡）

◇第67回国民体育大会バレーボール競技

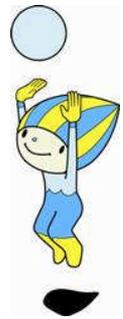
開催県：岐阜県 期日：10月5日（金）～8日（月）

【男子最終成績】

【優勝】 愛知選抜
【準優勝】 大塚（大阪）
【3位】 兵庫選抜
【4位】 広島選抜

【女子最終成績】

【優勝】 九州文化（長崎）
【準優勝】 誠英（山口）
【3位】 柏井（千葉）
【4位】 東九州龍谷（大分）



少年男子1回戦

不戦勝

少年女子1回戦

北海道選抜 2-0 岡山選抜

少年男子2回戦

北海道選抜 0-2 宮城選抜

少年女子2回戦

北海道選抜 0-2 東京選抜

◇春の高校バレー 第65回全日本高等学校バレーボール選手権大会

期日：平成25年1月5日（土）～13日（日） 会場：5・6・7日さいたまスーパーアリーナ、12・13日所沢市民体育館

男子1回戦

東海大四 2-1 足利工大附

女子1回戦

札幌大谷 0-2 熊本信愛

男子2回戦

東海大四 2-1 添上 とわの森 2-0 習志野

旭川実業 0-2 柏井

男子3回戦

東海大四 0-2 日本航空 とわの森 1-2 鎮西

（男子2チーム共にベスト16）

【優勝】 星城（愛知）

【優勝】 下北沢成徳（東京）

【準優勝】 大塚（大阪）

【準優勝】 誠英（山口）

【3位】 大村工業（長崎）

【3位】 柏井（千葉）

【ベスト8】 鹿児島商業（鹿児島）

【ベスト8】 熊本信愛女（熊本）

北海道中標津高等学校バレーボール部

北から



バレーボールは人を練り、バレーボールは人をつくる

中標津町は根室管内のほぼ中央に位置し、人の数より牛の数が多い道内でも有数の酪農地帯です。人口は約2万4千人ですが、過疎化が進む根室地方で唯一人口が増加しており、最近は商業活動も盛んで、人口1人当たりの小売販売総額は全道でも上位です。根室地方の経済・文化の中心地として、また道東の空の玄関口として大変活気のある町です。

昭和23年創立の中標津高校は、普通科4クラス、商業科・事務情報科各1クラスの併置校で、管内で最も間口の大きい学校です。現在全校生徒は620名で、管内4町19の中学校から入学してきており、通学に約1時間を要する生徒や下宿生活を送っている生徒も約20名います。行政区画を越えた「地域の学校」として、進路実現を中心とした学力向上、部活動による人間形成、地域との連携など多くの期待が寄せられている学校です。

本校女子バレーボール部について、簡単にその歴史にふれてみると、昭和26年創部、40年代後半には全道大会に連続出場し、選抜・高体連・国体において第3位の成績をおさめました。50年代中期にも全道大会ベスト8の成績を度々残し、平成に入りこの10年間では高体連釧根支部初優勝を果たし、北北海道大会・全道大会には合わせて21回出場しています。このように、本校バレー部が長年にわたり活動を続けることができているのは、保護者の理解とOG会の協力を含め地域の力によるところが大きいです。この地域は大変バレーボールが盛んで、少年団から一般まで熱心に活動しています。カテゴリーを越えた交流も盛んで、本校も練習試合や大会・合宿の運営など様々な場面で多くの協力を頂いています。また部の活動として、各町で開催されているスポーツイベントやスポーツ講演会・講習会等に積極的に参加し、できるだけ地域との関わりを深めるように心掛けています。このような日頃の活動と大会成績が評価され、平成23年に中標津町文化スポーツ振興財団から表彰されました。

生徒には、全道優勝という目標に向かって活動する中で、感謝の気持ちを持つ礼儀正しい人、夢や目標を持ち前向きに努力する人、仲間に信頼され集団に貢献できる人になってもらいたいです。また、バレーボールを通して、人は多くの人に支えられて生きていることを生徒に実感させたいと思っています。そしていつの日か友を支え、家族を支え、地域を支える心温かい人に成長してくれることを願い、これからも努力していきたいと思ひます。

女子バレーボール部監督 近藤 伸一

南から

北海道虻田高等学校バレーボール部



頑張る！ふんばる！道産子娘！！

目の前には内浦湾、背には洞爺湖と支笏洞爺国立公園に隣接する自然豊かな環境に恵まれた場所に、本校は所在します。

本校は全校生徒102名という小規模校です。来年度は、商業科の閉科に伴い、事務情報科1間口という事態になっております。部活動の成果だけではなく、学校の特色を発揮し、地域にとっても必要となる学校運営が求められています。

バレーボール部は、その昔にも輝かしい成果を残したと聞きますが、前任の八田正人監督が一念奮起し、再興しました。2000年には有珠山の噴火が起こり、当時のバレー部の子どもたちは避難所生活を送ることとなりました。全道のバレーボール関係者の方々の暖かいご支援に支えられたことや、苦しみながらも決して諦めずに、自分たちにできることをやるという“がんばる！ふんばる！”の考えは、この環境から生まれました。

現在、3年生を含め19名の生徒と共に、洞爺湖畔で共同生活をしながら、その目標の実現に向けて励んでいます。共同生活は、畑仕事や草刈、食事作りから始まります。よく「大変だね」と言われますが、そんなことはありません。ここに子どもたちの“生きる力”を育むための素晴らしい環境があり、共に励む素晴らしいスタッフがいることにとても感謝しています。

どんな状況におかれても、決してめげない。足を地べたにしっかりと踏み込んで、苦境を乗り越える。この「ふんばる！」の精神を引き継ぎ、目標である「全道優勝」に向けて、日々精進していきたいと思っています。

北海道虻田高等学校バレーボール部監督 井上 信門

平成23年度 国民体育大会 バレーボール少年 北海道選抜チーム

男 子

女 子

監 督 山田 和弘 (とわの森三愛高等学校)

監 督 掛屋 忠義 (札幌大谷高等学校)

コ ー チ 太刀川建一 (恵庭南高等学校)

コ ー チ 平本 和久 (札幌大谷高等学校)

マネージャー 藤盛 竜太 (江別高等学校)

マネージャー 佐藤 和幸 (札幌国際情報高等学校)

No	氏 名	学校名	学年	身長	出身中学	No	氏 名	学校名	学年	身長	出身中学
1	十良澤太一	尚志学園	3	173	札幌琴似	1	小室 祐里	札幌大谷	2	166	南富良野
2	イド・ケン・卓	とわの森	3	187	札幌八軒東	2	宮田 成美	札山の手	3	162	深 川
3	星和 希	とわの森	3	184	札幌厚別北	3	見高怜央菜	札幌大谷	3	155	紋 別
4	大江 航太	とわの森	3	178	恵 庭	4	加納 茉未	札幌大谷	3	179	札幌東月寒
5	山田 真也	とわの森	3	174	釧路共栄	5	三國 瑞希	札幌大谷	3	163	札幌大谷
6	山本 智大	とわの森	3	168	恵 庭	6	井上 瑠衣	札幌大谷	3	170	富良野東
7	末藤 裕貴	東海大四	3	189	旭川六合	7	小山 綾菜	札山の手	3	176	札幌札苗
8	森元 貴哉	札幌藻岩	3	179	恵 庭	8	佐々木涼夏	札幌大谷	2	170	江別中央
9	神園 時	札幌藻岩	3	172	恵 庭	9	年代 詩帆	札幌大谷	2	166	富良野西
10	榎本 京祐	札幌藻岩	2	185	札幌厚別北	10	岩花あさみ	札幌北斗	3	170	札幌信濃
11	小池 勇輝	とわの森	2	182	教大付釧路	11	大盛 梢	札山の手	3	174	和 寒
12	関山 大介	とわの森	2	180	網走第三	12	山西 真由	札山の手	3	172	和歌山高積

平成24年度高等学校9ブロック長身選手発掘育成合宿

北海道ブロック合宿 個人指名選手一覧

《 男 子 の 部 》

《 女 子 の 部 》

No.	氏 名	学 校 名	身長	No.	氏 名	学 校 名	身長
1	田城 広光	とわの森	189	1	福田 菜穂	札幌北斗	175
2	榎本 京祐	札幌藻岩	186	2	谷越 千佳	札山の手	172
3	深山 智史	札幌啓成	185	3	金内 七海	札山の手	177
4	野田 健太	札幌啓成	188	4	水上真悠子	岩見沢西	173
5	林 聖也	旭川実業	187	5	大窪 莉叶	岩見沢西	175
6	柳町 逸太	東海大四	183	6	畑 千紗都	東海大四	172
7	小池 勇輝	とわの森	182	7	小野祐佳里	東海大四	174
8	河西 孔明	札幌藻岩	185	8	山下 詩音	札幌大谷	171
9	櫻木 雄太	札幌北陵	189	9	中島 伶那	函 館 西	173
10	岡部 大樹	札幌工業	187	10	鎌田由莉香	江 別	175
11	山下 紘右	東海大四	175	11	武田 和	札幌北斗	174
12	橋本 諭	札幌北	192	12	松田 華奈	帯広南商	175
13	福田 耕也	札幌藻岩	182	13	目谷 真里	市立函館	
14	新川 喜彬	札幌啓成	186	14	小沼 志帆	江 陵	171
15	長谷川文也	尚志学園	188	15	岩堀 葉月	旭川商業	173
16	中里 暢之	旭川凌雲	183	16	鈴木穂梨美	札幌大谷	171
17	藤村 翔也	東海大四	185	17	松田 樹奈	札幌藻岩	174
18	飯尾 友貴	苫小牧工	189	18	坂本 梨菜	遺愛女子	177
19	高田 凌矢	旭川凌雲	185	19	斎藤 里帆	東海大四	171
20	木村 彰人	静 内	185	20	松田はるな	帯広南商	166
21	佐藤 大輝	富 良 野	184	21	村谷 朝美	函館商業	
22	戸田 悠貴	北 海	186	22	堀尾 里紗	札幌平岸	171
23	池田 祐太	札幌平岡	185	23	金子 真美	当 別	172
24	山崎 寛生	滝 川		24	吉田安佳里	札幌大谷	170
25	池田 智晴	とわの森	170	25	三浦 麻姫	森	
26	川崎 太一	帯広工業		26	田中 桃子	遺愛女子	175
27	中村 修二	岩見沢農		27	三原穂乃花	札幌大谷	163
28	菅原 諒	苫 高 専	187	28	松山 遥菜	旭川商業	160
29	田中拳士朗	北広島西	185				
30	村本 玲	札幌藻岩	170				

トピックス

◆平成25年4月からのルール的大幅改正点

- ① サービスのレシーブ（レセプション）について レセプションをオーバーハンドでおこなった場合に、Wコンタクトの反則が発生する可能性がある。その程度については3月24日の全国審判伝達講習会で決定する。
- ② カードの適用について 旧来のカードに戻る。現在はイエローカードで点数が動くが、新ルールではレッドカードで点数が動くことになる。詳細は、審判講習会で確認してください。

※必ず審判講習会等で確認して下さい!!

◆訃報

東海大学附属第四高等学校の櫻田義人先生が6月24日に、竹島孝二先生が8月に、帯広工業高等学校の後藤忠範先生が、1月8日にご逝去されました。竹島先生は道内の審判・競技の発展に大きな足跡を残されました。後藤先生は、道東地区の中心となって、道内高校チームの強化に邁進して下さいました。櫻田先生は選手としても指導者としても何度も全国優勝を成し遂げ、北海道バレーボール界の牽引的活動を続けて下さいました。現役監督として実に惜しいご世界でした。

どの先生たちも、高校バレーを基本に、教育活動としてのバレーボールに徹して下さいました。それが、多くの人たちに受け入れられたと思われます。感謝の気持ちをこめて、ご冥福をお祈りいたします。

◆全国的に体罰が問題化

大阪市立桜宮高校のバスケット部体罰による自殺が表面化してから、同校バレーボール部の体罰、柔道のナショナルチーム内の体罰、また全国からの報告などもあり、文科省・JOC・日本バレーボール協会・全国高等学校体育連盟バレーボール専門部でも大きく取り扱われ、今後もこのことについては調査・報告がなされるとのことです。日本バレーボール協会・全国高体連から出された通知につきましては10面に掲載しておきました。日本のスポーツ界の転換期が来ているのかもしれない。

◆ロンドンオリンピックで日本女子、28年ぶりのメダル獲得（銅）

待ちに待った悲願のメダル獲得を全日本女子バレーボールが成し遂げてくれました。1984年ロサンゼルスオリンピック以来、実に28年ぶりの快挙でした。日本女子の国際スポーツ界での活躍がめざましい昨今、本当にうれしい表彰台でした。



◆2013ジュニアオールスタードリームマッチ（大塚2/23～24日）に道内から5名が参加、コーチにも福田まどか先生

【男子】

林 聖也（旭川実、2年、188cm） 榎本 京祐（札幌藻岩、2年、186cm）
 山下 紘右（東海大四、2年、177cm）

【女子】

松田 華奈（帯広南商、1年、175cm） 福田 菜穂（札幌北斗、2年、173.7cm）

特集

「櫻田義人君を偲んで」

東海大学付属第四高校男子バレーボール部元監督 石田時郎

私が、このような形で、君の思い出を語ることがあるなんて誰が想像したのでしょうか。思い起こせば、出会いは40年以上も前のことです。君の高校受験が間近に迫った2月中旬頃、入学を希望して、放課後私を訪ねてきた時だと記憶しています。入学後は、持ち前のバレーセンスと仲間や先輩に恵まれ、1年生の時は、インターハイでベスト8、2年生の時は国体で準優勝に貢献するなど大活躍でした。最上級生になって、主将として活動が始まり1ヶ月が過ぎた頃、私の指導が厳しかったため、下級生が音を上げてしまった時には、上手にチームをまとめ、更に厳しい練習に取り組んでいました。その結果、春の大会ではベスト8でしたが、インターハイでは初めて北海道に優勝旗をもたらしました。優勝チームは韓国遠征があり、その手続きを大会終了後直ちに行って帰りました。札幌を出発数日前、韓国で事件が発生しており、正に、当地に遠征するため、千歳空港に向かっている途中で「韓国遠征中止」の連絡が入りました。大きな荷物を抱えながら大通り公園まで行き、そこで解散したときの君の顔を今でも思い浮かべることができます。そんなことがあっても、君たちは努力を重ね、国体でも見事優勝しました。その時月刊バレーボール誌で高校優勝チーム男女の対談があり、その内容が素晴らしく、その後の生徒指導に、時々引用しました。

卒業後は、東海大学に進学し、セッターとして1年生の時からスタメンで活躍し、インカレでは2年連続準優勝という輝かしい実績を残されました。大学卒業後は、私の同僚として母校に戻ってきてくれ、私が東海大四高校を去るまでの14年間を一緒にクラブ指導に当たっていました。その間、私がバレーボール部の指導だけでなく、校務でも大過なく終え、相模高校に転勤できたのも、君の努力と協力があったからと感謝していました。私は、こちらに来て20年が過ぎようとしています。君はその間、チーム指導に立派な実績を上げ、更に、北海道バレーボール協会や全国高体連でも活躍して



亡くなられる4ヶ月前の櫻田先生

いました。今から4、5年前、体調が優れなくなったころ、東海大相模高校体育教官室で「もう2回全国優勝するんだ」と元気であるという姿勢をみせてくれました。しかし、昨年1月東京体育館での大会に臨む姿は、痛々しく見えたが、病気のことを尋ねる勇気はありませんでした。ただ一言「体を大事にしろよ」言って別れました。そして4月上旬、四高バレーボールOBから「櫻田先生の体調が悪るそうだ。2週間程四高に来てくれないか」という電話があり、様子を見に行くことにしました。札幌に向かう2日前「札幌地区大会も全道大会も行けそうにない。松田君のことチームのことよろしく頼みます」という電話がありました。私が、四高での2週間の練習中2度コートに姿を見せました。「無理をするな」と言うと、「忘れられたら困る」と冗談を言っていました。神奈川に帰る前日、チームの状態と見舞いを兼ねながら、家を訪ねたのが最後の別れとなりました。

君を慕って入学した多くの部員がいます。もう君の指導を直接受けることはできませんが、君の意志を託した松田先生が頑張っています。君の思いを成し遂げてくれると思います。OBも協力してくれています。私も若い指導者の足手まといにならぬ程度に協力したいと思います。どうか安らかにお休みください。

北海道大会 40 回以上出場の監督名データ (出場 20 回以上)

合計	氏名	所属チーム	国体	総体	選抜	新人	選手権
85	松田 一夫	釧路工業	20	29	26	7	3
82	川村 博美	登別大谷	19	30	28	3	2
75	櫻田 義人	東海大四	13	29	24	7	2
74	佐藤 泰将	由仁 → 岩見沢西	26	23	25		
72	山田 伸二	函大有斗	20	24	25	3	
68	後藤 忠範	帯広工業	14	23	24	5	2
67	中村 康弘	白樺学園	15	21	21	7	3
66	村上 保嗣	札幌北斗	16	22	23	5	
66	鈴木 孝明	札幌藻岩	16	18	21	8	3
63	掛屋 忠義	旭川実業 → 札幌大谷	15	19	21	6	2
62	山田 和弘	とわの森三愛	12	20	19	8	3
61	佐藤 典靖	釧路星園 → 釧路湖陵	16	22	23		
61	工藤 博己	尚志学園	15	16	20	7	3
58	吉野 勲	妹背牛商業	21	21	16		
57	中村 哲郎	美唄工業 → 函館中部	11	26	20		
57	平間 慶一	帯広農業	11	26	20		
57	白井 誠	札幌香蘭 → 札幌山の手	16	21	20		
56	八田 正人	北広島西 → 虻田	12	15	26	3	
55	新谷 富市	札幌第一	11	18	16	7	3
52	石田 時郎	東海大四	24	14	14		
51	早坂 喜容	苫小牧中央	18	15	18		
50	細川 善彦	妹背牛商業 → 旭川大学高	11	16	13	7	3
50	高橋 正恭	月形 → 岩見沢西 → 恵庭南	10	14	17	6	3
48	蛭谷 春雄	岩見沢東 → 函館商業	9	21	18		
47	今 裕	小樽商業 → 富良野 → 旭川西	14	17	15	1	
47	和田 肇	函商 → 斜里 → 伊達 → 平岸 → 啓北商	15	16	16		
45	小林 俊昭	札幌第一	11	15	19		
45	奥山 忠	光星 → 遠軽 → 札幌新川 → 札幌旭丘	15	13	17		
44	林 隆志	北見緑陵	18	15	11		
41	高田 志朗	滝川西 → 小樽工業	13	14	13	1	
41	山田 仁樹	利尻 → 釧路商業	11	14	14	2	
41	持川 敬	苫小牧中央	8	13	14	4	2
39	近藤 静人	旭川西 → 斜里	14	21	4		
39	河上 清孝	東海大四	13	13	13		
39	小林 静夫	釧路北陽	11	12	13	3	
39	森元 聡	静内農業 → 函館東 → 市立函館	10	11	14	4	
38	高橋 輝彦	帯広南商業	3	17	18		
38	富田 誠治	帯広南商業		15	12	8	3
38	斉藤 敏大	北見商業	13	13	12		
38	北川 浩一	士別商業 → 伊達緑丘	8	12	13	4	1
38	横江 敏文	北見緑陵 → 滝川西 → 北見緑陵	9	9	13	5	2
37	本間 國可	釧路北陽 → 岩 内	10	14	13		
37	大西 正宏	帯広大谷	14	11	12		
36	松本 勇市	稚 内	3	19	14		
36	宇野 克世	小樽双葉	6	13	17		
36	星野 哲夫	夕張北 → 富良野 → 旭川商業	4	7	21	4	
36	本間 公男	妹背牛商業 → 滝川西	11	5	19	1	
35	石崎 賢	美幌 → 岩内 → 小樽商業	8	12	10	4	1
35	近藤 俊雄	沼田 → 岩内	9	10	16		

合計	氏名	所属チーム	国体	総体	選抜	新人	選手権
34	滝沢 輝久	浦河 → 熊石 → 函館西	11	9	10	2	2
33	松本 秀樹	旭川南 → 旭川商業 → 旭川西	11	7	15		
33	藤原 正	恵庭南	8	7	14	4	
32	一柳 昇	旭川実業	11	11	10		
32	入澤 秀寛	旭川実業	11	11	10		
32	阪本 肇	札幌山の手	11	11	10		
32	小田 優子	函館稜北	12	10	10		
32	荒井 清	旭川実業	10	10	12		
32	本山 功	妹背牛商 → 旭川商業	7	9	9	4	3
31	佐藤 和幸	天塩→国際情報	6	8	11	4	2
30	成田 裕保	名寄→帯広三条→美瑛→旭川東	4	14	12		
30	前多 正彦	函館北	7	13	10		
30	平沖 勝雄	留萌	5	8	17		
30	佐藤 光則	深川西	3	8	15	4	
29	矢木 豊秋	稚内大谷	4	14	11		
29	田中 明人	稚内大谷 → 東海大四	2	9	7	8	3
29	五十嵐芳廣	旭北都商 → 旭川凌雲	8	5	13	3	
28	上坂 茂	札幌東商 → 札幌藻岩	5	12	11		
28	山本 隆治	函館中部 → 函館東 → 函館遺愛	2	12	14		
28	原 正夫	苫小牧中央	8	10	10		
28	石田 健一	函館大妻	9	9	10		
27	加藤 一浩	稚内 → 岩見沢東 → 小樽桜陽	5	10	10	2	
27	中嶋 義明	旭北都商業 → 啓北商業 → 札幌平岸	10	7	10		
26	小田 久勝	函館商業	6	9	8	3	
26	太田 成司	深川西	10	8	8		
26	山川 和絵	帯広大谷	5	7	8	4	2
26	大谷 孝男	白糠 → 函館ラサール	6	6	10	2	2
26	大津 正彦	遠軽→留萌		5	13	6	2
25	佐田喜四男	釧路工業	6	15	4		
25	移川 邦男	函館大妻	1	10	7	5	2
24	安藤 善助	帯広柏葉 → 帯広三条	4	16	4		
24	紺屋 正雄	札幌北陵→岩見沢東	4	10	10		
24	若杉 享	北見工業	11	8	5		
24	渡邊 徹	札幌山の手		8	5	8	3
24	伊藤 光男	網走南丘	3	5	10	3	3
23	谷本 鐵也	芦別 → 岩見沢東	6	15	2		
23	高木 徹	美唄聖華 → 南茅部 → 函館中部	3	10	10		
23	桑谷 芳博	函館東	3	7	12	1	
23	奥山 高広	美唄聖華 → 札幌工業	3	2	13	4	1
22	佐々 三男	札幌北	9	13			
22	嶋田 郁雄	栗山	6	8	8		
22	近藤 伸一	中標津		4	8	7	3
21	平本 和久	妹背牛商業 → 札幌大谷	1	8	6	5	1
21	末神 敏昭	小樽潮陵	3	7	8	2	1
21	吉田 正人	函館北 → 市立函館	2	7	8	3	1
21	友成 克宏	函館工業		6	7	5	3
21	家近 昭彦	札幌真栄→白糠→留萌→札幌北陵	8	5	8		
21	徳保 勇司	仁木商業 → 札幌工業	8	3	10		
21	伊藤 郁夫	静内	5	3	13		
21	須田 敏彦	旭川凌雲 → 札幌開成	7	2	7	3	2

※選手権大会は平成22年度を起算日とした。 ※間違っている点にお気づきの際にはご連絡下さい。

JVA・全国高等学校体育連盟バレーボール専門部からの通知

加盟団体各位

2013年1月21日

公益財団法人 日本バレーボール協会

会長 中野 泰三郎

バレーボール部活動中の体罰根絶に向けた指導徹底について（通知）

御存知の通り、大阪市立桜宮高校バスケット部主将が、体罰を受けた後に自殺し大きな社会問題となっています。将来を担う若い力が自ら命を絶ってしまったことは非常に残念です。また同校では2011年9月にバレーボール部顧問が体罰を与え、3か月の停職処分を受けていますが、処分解除後に再度体罰を与えた模様です。まさに言語道断と言わざるを得ません。大阪市教育委員会や文科省等は、大阪市に加え全国の学校教育における体罰の実態調査、外部監察を直ちに開始するとのことです。先般、日本オリンピック委員会や日本体育協会からも、日本バレーボール協会を含む中央競技団体に対し、『指導者として相応しい行動の指導徹底について』の文書が届いています。

日本バレーボール協会及び各加盟団体は、従来から『指導におけるガイドライン』を公表し、体罰等の撲滅に努めていますが、残念ながら未だに体罰が再発しているのが現状です。日本バレーボール協会は、再発防止に向けて厳しい措置を早急に検討のうえ実施しますが、各加盟団体におかれましては、指導者に対し、競技中だけでなく日常生活の場においても、スポーツに携わるものとして責任ある行動と自覚を持つよう、至急・再度・強く周知徹底を図り、再発防止に努めて頂きたく宜しくお願いします。

【至急実施して頂きたいこと】

各加盟団体におかれては、この通知をホームページに掲載した上で、理事会等の会合時に、この通知を各加盟団体責任者から出席者に手渡しし、何回も指導を繰り返す等、あらゆる方法で、出来る限りの対策を至急実施して下さい。

平成24年度 北海道の高校のJVA MRS登録数

項 目	男 子	女 子	合 計	各 都 道 府 県 での 北 海 道 の 位 置
登録選手数 (23年度)	1,487 人 (1,510)	2,667 人 (2,676)	4,154 人 (4,186)	①東京 ②愛知 ③大阪 ④兵庫 ⑤神奈川 ⑥北海道
登録チーム数 (23年度)	122 チーム (122)	212 チーム (209)	334 チーム (331)	①東京 ②愛知 ③北海道 ④大阪 ⑤神奈川 ⑥兵庫



永年、北海道高校バレーボール強化の中心的役割を果たしてきた苫小牧中央高校の早坂喜容先生の定年退職慰労会
(平成24年12月28日 芦別のスターライトホテルにて)

編集後記



平成24年度はバレーボール界において、いろいろな出来事がありました。オリンピックのメダル獲得を筆頭に良いこともありました。体罰問題に代表されるダークな一面もクローズアップされました。また、北海道の高校バレーに多くの貢献をされた諸先輩たちが他界されたことは、悲しい出来事でした。

専門部のHPをスタートさせて13年、この機関誌を発行し始めて6年、更に全国のHPの管理・維持と全国機関誌「春の詩」の編集（これはお手伝いだけですが）といささか疲れ果てている昨今ですが、日々入ってくる膨大な情報は、スポーツ界の激しい移り変わりを実感させます。

選手たちの気質はどんどん変わってきており、指導者も若手への変換期を迎えています。しかし、かつて「バレー王国」といわれた北海道の高校バレーが再び全国の頂点に立つためにはもう一度原点に立ち返る必要があるのかもしれない、という思いで今回の編集作業を行いました。指導者も選手も、同じバレーボールを志している仲間として、これからも頑張っていきましょう。

今回、入稿して下さった石田時郎先生には、昨年11月に原稿の依頼をしました。随分悩まれてから執筆していただきました。「櫻田先生のことなら、いくら語っても、語り尽きない」とおっしゃっていましたが、涙溢れる内容を櫻田先生へ贈っていただきました。本当にありがとうございました。

チームの紹介文を書いて下さった虻田高校の井上先生、中標津高校の近藤先生には、北海道新人大会直前の忙しい中、快く書いていただき感謝しています。なかなか、どこのチームを紹介したらよいか悩まされるわけですが、紹介したいチームがありましたらお早めにお知らせ下さい。大体、原稿の依頼は11月中にします。チームの決定は10月までには終わっています。早めのご連絡をお願いいたします。